

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月28日更新

事務事業名		強い農業づくり交付金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	安武 栄一
	基本事業	33	経営力の強化・生產品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 11615	法令根拠	成果優先度評価結果	：
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	国庫補助事業で、産地競争力の強化を政策目的として実施し、農産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び流通の合理化により、合志市における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する事業。集出荷貯蔵施設の整備(西瓜選果施設、予冷・保冷库)及び生産技術高度化施設整備(低コスト耐候性ハウス)
【業務の流れ】	事業主体である菊池地域農業協同組合及び(有)あぐり弘生が、合志市を経由し事務手続きを行う。なお、合志市を経由するため予算措置を行う必要がある。 事業実施主体 ⇄ 合志市 ⇄ 熊本県 各補助金交付規則等に即した補助金関係事務
【主な予算費目】	JA菊池 集出荷貯蔵施設事業費 事業費：468,382,600円 補助額：421,544,000円 (有)あぐり弘生 生産技術高度化施設 事業費32,440,000円 補助額：15,447,000円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	意見や要望なし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	事業主体 ⇄ 市町村 ⇄ 熊本県 上記流れに伴う補助金等関係事務	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 事業主体 ⇄ 市町村 ⇄ 熊本県 上記流れに伴う補助金等関係事務
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア 農業用施設等	(単位) 施設 予算の主な増減の理由 補助事業の為、今年度申請額が増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	事業実施主体	(単位) 人 → ア 施設の利用者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	施設利用料の負担軽減が出来る施設整備	(単位) 施設 → ア 施設整備数
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 補助事業により整備することによる施設利用料等の低減になるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 施設				2	2				
	イ									
② 対象指標	ア 人				127	127				
	イ									
③ 成果指標	ア 施設				2	2				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円			0	0			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人			0	1			
		延べ業務時間	時間			0	915			
	(B)人件費計	千円			0	3,645				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	3,645				

事務事業名	強い農業づくり交付金事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 単年度事業の為、次年度目標なし	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 単年度事業の為、成果向上余地なし。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 単年度事業の為、統廃合・連携の可能性なし。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 単年度事業の為、削減余地なし。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 単年度事業の為、削減余地なし。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

産地競争力の強化等につながり、今後の営農の手助けとなった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

補助金交付申請があった段階で予算等計上を行い、事務の執行を行う。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策